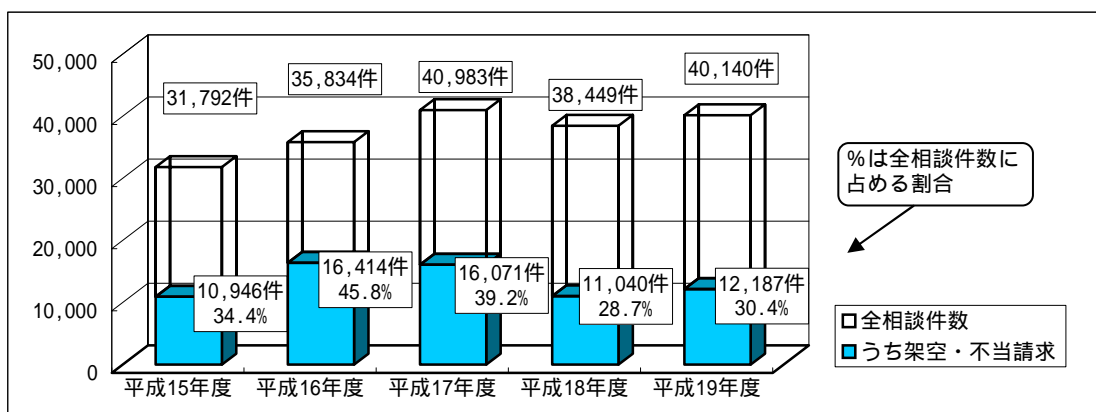


## 2 主な特徴

### (1) 架空・不当請求に関する相談

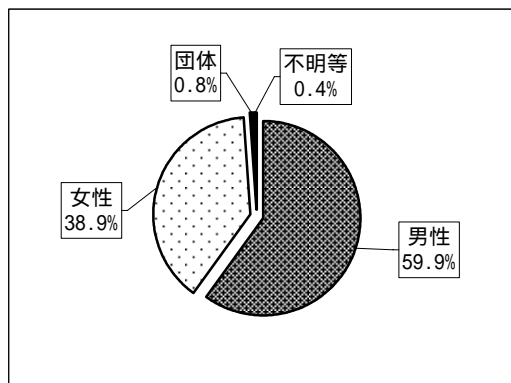
有料サイトの利用料金や、商品を特定しない料金の請求、債権等といった名目の「架空・不当請求」に関する相談は12,187件寄せられた。「架空・不当請求」の相談件数は、16年度をピークとして年々減少していたが、平成19年度は対前年度比110.4%と再び増加に転じた。相手の携帯電話番号あてに送信する「番号対応メール」を悪用した架空請求や公的機関を装った架空請求に関する相談が多く寄せられた(図-4)。

【図-4】 架空・不当請求の相談件数推移

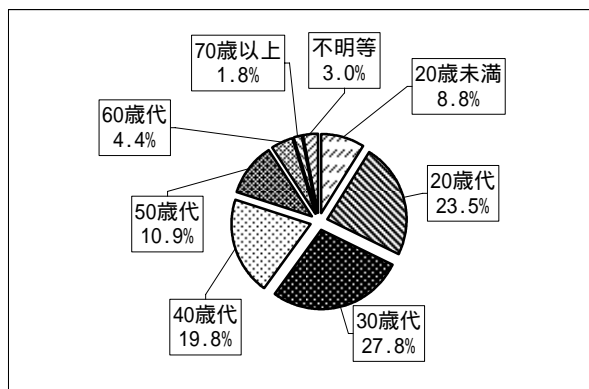


契約当事者の属性では、男性が6割、年代別では20～30歳代で5割を占める。前年度と比較すると、性別では女性の相談件数の増加が著しく、年代別では40歳代が大きく増加した(図-5・6/表-3・4)。

【図-5】 架空・不当請求の相談  
契約当事者性別割合 [n=12,187]



【図-6】 架空・不当請求の相談  
契約当事者年代別割合 [n=12,187]



【表-3】 架空・不当請求の相談  
契約当事者性別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
男性	7,506	7,304	97.3%
女性	3,349	4,739	141.5%
団体	118	100	84.7%
不明等	67	44	65.7%
計	11,040	12,187	110.4%

【表-4】 架空・不当請求の相談  
契約当事者年代別件数対前年度比

	平成18年度	平成19年度	対前年度比
20歳未満	1,117	1,073	96.1%
20歳代	2,825	2,860	101.2%
30歳代	3,001	3,390	113.0%
40歳代	1,855	2,410	129.9%
50歳代	1,135	1,334	117.5%
60歳代	458	533	116.4%
70歳以上	248	221	89.1%
不明等	401	366	91.3%
計	11,040	12,187	110.4%

東京都の対応：東京都では、携帯電話の番号対応メール(簡易メール)を悪用した架空請求の相談が増加したため不審なメールは無視するようにホームページ等で注意を呼びかけています。